

原子力災害時の避難方法等に関するアンケート調査の結果

1. 目的

「バスの必要台数」や「実際に避難所に避難する方の人数」など、住民の避難体制に係る基礎データを把握し、「ひたちなか市広域避難計画」の策定に活用するため

2. 期間等

調査期間	・令和元年 6月上旬から6月30日まで (差出有効期限は7月31日まで)
対象者	・住民基本台帳登録者の中から、令和元年5月1日現在で満18歳以上の方を無作為に抽出した3,000人
設問	全12問

3. 回答率

発送数	3,000 (人)
転居等による返戻数	9 (人)
回答数	1,217 (人)
回答率	40.69 %

4. 結果

(参考)

- ・原子力災害が発生した場合、基本的に市が協定を締結している30km圏外の避難先に車(自家用車や近所の方の車など)で避難することになります。
- ・また、車で避難できない方(しない方)については、県・市が用意するバスや福祉車両で避難先に避難をすることになります。
- ・原子力災害が発生した場合に備え、本市は、下記の自治体とひたちなか市民の避難の受入れについて協定を締結しております。

【茨城県内14市町村】

- ・土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、牛久市、鹿嶋市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、小美玉市、美浦村、阿見町、河内町、利根町

【千葉県10市町】

- ・成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町、神崎町

※通勤・通学等で自宅にいない場合であっても、避難が必要となるまでに、帰宅している想定でご回答ください。

【問1】性別について

項目	割合 (%)
男性	45.93
女性	53.74
未回答	0.33
計	100

【問2】年齢について

項目	割合 (%)
20代以下	5.67
30代	12.16
40代	17.75
50代	17.58
60代	18.41
70代	20.05
80代以上	8.05
未回答	0.33
計	100

【問3】本人を含む世帯の人数について

項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
1人	7.81	6人	5.09
2人	32.29	7人	1.56
3人	25.47	8人	0.25
4人	19.06	不明	0.58
5人	7.23	未回答	0.66
		計	100

・不明：問3とその後の回答において人数の整合が取れない場合

【問4】居住地区について

住んでいる地域の自治会名を記載（自治会未加入の方は地区名を記載）

項目	割合 (%)
「自治会名」を記載	76.58
「地区名」を記載	20.87
不明	0.74
未回答	1.81
計	100

【問5】避難先について

項目	割合 (%)
市が協定を締結している避難先	70.50
それ以外の場所	28.68
不明	0.08
未回答	0.74
計	100

【問6】(1)

問3で回答した世帯人数のうち、自家用車で避難できない(しない)方の人数

※問5で「協定先の避難所」を選択した方を対象

項目	割合 (%)
0人	81.47
1人	7.93
2人	6.64
3人	1.05
4人	0.23
5人	0.23
6人	0.00
7人	0.12
不明	1.05
未回答	1.28
計	100

⇒ 自家用車で避難できない(しない)人の割合 8.90%

【問6】(2)

(1)で回答のある自家用車で避難できない(しない)方の、その理由について

※問5で「協定先の避難所」を選択した方を対象

項目	割合 (%)
県・市の用意したバスで避難するため	7.00
車いす対応の福祉車両が必要なため	0.72
ストレッチャー対応の福祉車両が必要なため	0.23
医療的なケアが必要なため	0.15
その他	0.34
未回答	0.46
	8.90

・その他の理由：付添するため、人混みが苦手、 など

【問7】避難の車両台数について

問3で回答した世帯人数のうち、自家用車で避難できない（しない）方を除いた人数が何台の自家用車で避難をすることになるか。

※問5で「協定先の避難所」を選択した方を対象

項目	割合 (%)
0台	8.74
1台	57.34
2台	21.91
3台	6.06
4台	2.10
5台	0.47
不明	0.47
未回答	2.91
計	100

⇒ 避難者1人あたりの車両台数 0.424台/人

【問8】自分の自治会エリアとは別の避難所に避難することについて

両親や親戚と同じ避難所に避難するなど、自分の自治会エリアとは別の避難所に避難しようという想定があるか。

※問5で「協定先の避難所」を選択した方を対象

項目	割合 (%)
ある	19.58
なし	40.44
わからない	38.69
未回答	1.28
計	100

【問9】避難するタイミングについて

項目	割合 (%)
市から指示があった段階で速やかに避難を開始する	68.04
渋滞等が心配なので、市からの指示のあとしばらくしてから避難をする	11.18
市から指示がある前に親戚・知人宅の前に自主的に避難をする	15.12
その他	3.94
未回答	1.73
計	100

・その他の理由：渋滞等の状況を見て判断する、避難しない など

【問 1 0】 原子力災害時の情報入手方法について

利用すると思うものを優先順に回答（回答は3つまで）

項目	①	②	③	合計	順位
防災行政無線	777	99	87	963	1
市のホームページ	33	88	83	204	6
市へ直接問合わせ	15	65	30	110	7
エリアメール	162	360	182	704	3
テレビ	162	420	299	881	2
ラジオ	23	94	314	431	4
SNS	29	64	120	213	5
その他	6	3	15	24	8
未回答	10	24	87	121	
	1217	1217	1217		

・その他の理由：インターネット、知人や専門家に聞く など

【問 1 1】 広域避難計画の課題について

重要だと思うものを優先順に回答（回答は3つまで）

項目	①	②	③	合計	順位
渋滞対策	495	104	61	660	2
複合災害	56	92	41	189	8
避難経路の拡充	35	56	31	122	9
第2の避難先	53	58	26	137	8
広報手段の多様化	54	98	48	200	7
正確かつ迅速な情報提供	331	288	113	732	1
避難行動要支援者の支援対策	27	70	51	148	7
避難バスや運転手の確保	11	26	19	56	11
避難途中の給油	18	128	119	265	4
長期の避難生活とその後の補償	47	133	289	469	3
別々に避難した家族の安否確認	41	67	131	239	6
避難先の受入れ体制の確立	19	63	178	260	5
避難所でのペットの取扱い	11	9	65	85	10
その他	2	1	8	11	12
未回答	17	24	37	78	
	1217	1217	1217		

・その他の理由：すべてが重要で順位がつけられない など

【問 1 2】 原子力災害時の避難についてのご意見等（自由記載）

記載あり	割合（％）
490	40.26

○意見抜粋

- ・震災から8年経過した中、未だに避難の具体的な計画が出来ていないことは極めて遺憾である。早急な計画の確立を期待している。
- ・自家用車での避難は、渋滞で現実的ではない。周到なシステム作りが必要である。
- ・避難後の留守宅の防犯が確保できないと避難しない人が出てくるのではないか。
- ・計画内容について、住民への周知がないと実効性がなくなる。
- ・単独災害は考えにくい。福島事故においても複合災害である。
- ・避難先まで経路が心配である。
- ・子供が乳児、幼児であり、避難先にどのような物を準備して持っていくとよいかなど、前もって分かっているとよい。
- ・健常者と同じ場所に避難する事が出来ない障害者のための避難の在り方を考慮していただきたい。
- ・正確な情報を迅速かつ確実に提供できる手段を複数準備しておいたほうがよい。避難後も避難先に継続的に情報を届ける手段を準備しておいたほうがよい。
- ・いろいろなペットが飼育されている。ペットに対する受入れをどうするのかも検討していただきたい。
- ・事故後の補償が心配である。
- ・事故が起きた場合、何百万人の方が今の生活、故郷を失うことになるので再稼動には反対である。